

JILPT 資料シリーズ

No. 51 2009年1月

第7回北東アジア労働フォーラム

活気に溢れたシステムチックな 人的資源市場(労働市場)の構築



独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

第7回北東アジア労働フォーラム

活気に溢れたシステムチックな 人的資源市場(労働市場)の構築

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

労働政策研究・研修機構（JILPT）は2008年11月4日、中国・北京で、中国労働保障科学研究院（CALSS）と韓国労働研究院（KLI）との共催による第7回北東アジア労働フォーラム（日中韓ワークショップ）を開催した。本フォーラムは、日中韓3カ国の労働政策研究機関が共通テーマに基づく研究成果を持ち寄って報告、意見交換をすることにより共通認識を醸成するとともに、研究内容を深めることを目的とした国際共同研究会議であり、2002年から毎年1回開催しているものである。

今回のテーマは、「活気に溢れたシステムチックな人的資源市場（労働市場）の構築（Construction of a Vibrant and Systematical Human Resources Market）」とした。サブプライム問題に端を発した金融危機の影響が、現在、労働市場に暗い影を落としているのは、中国、韓国、日本ともに同じであり、さらに、この3カ国は類似した文化を持ち、互いに頻繁に人が行き交う、親密な関係にある。こうした観点に立ち、各国の労働市場政策の類似点と相違点を分析するとともに、最近の課題とその解決方法の検討を行った。

フォーラムは2つのセッションで構成され、第1セッションでは3カ国の労働市場の最近の状況について、第2セッションでは3カ国の公共職業紹介事業の運営状況について、各研究機関が研究成果を報告した後、意見交換を行った。議論の焦点は、労働市場において労働力の需給調整に重要な役割を果たしている職業紹介、職業訓練、雇用保険・失業保険の在り方の3点に絞られ、「職業紹介制度の主体は、官なのか、それとも民なのか」、「職業情報提供はどのような手法で行えば最も効率的なのか」などの具体的かつ実務的な課題について議論を交わした。

特に就業形態が多様化した雇用環境の中で、派遣やパートなどの非正規労働者の雇用安定化と、正規労働者の就業条件との均衡を図る観点から、また地域ごとに差が生じている雇用状況を改善する施策として、職業紹介制度はいかにあるべきかについて意見交換をした。

本報告書にはフォーラムで報告された論文を収録した。関係各位の参考資料として活用していただければ幸いである。

2009年1月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 稲 上 毅

目 次

【第1セッション】

3カ国の労働市場の最近の発展

日本側報告

「日本の労働市場の概況と最近の雇用政策」

深町 珠由 労働政策研究・研修機構労働大学校研究員 …… 3

韓国側報告

「韓国の雇用保険と労働移動」

イ ビョンヒ (Byung-Hee Lee) 韓国労働研究院前任研究委員 …… 17

中国側報告

「中国の人的資源市場と公共職業紹介」

曾 湘泉 (Xiangquan Zeng) 中国人民大学労働人事学院長 …… 35

【第2セッション】

3カ国の公共職業紹介の運営状況

韓国側報告

「韓国の職業紹介の現状と改革の方向」

キム スンテク (Sung-teak Kim) 韓国労働研究院社会政策研究本部長 …… 51

日本側報告

「日本の公共職業安定機関の概要」

大谷 真司 労働政策研究・研修機構労働大学校准教授 …… 67

中国側報告

「中国の公共職業紹介と政策」

莫 榮 (Rong Mo) 中国労働保障科学研究院労働科学研究所副所長 …… 77

プログラム …… 93

出席者リスト …… 94